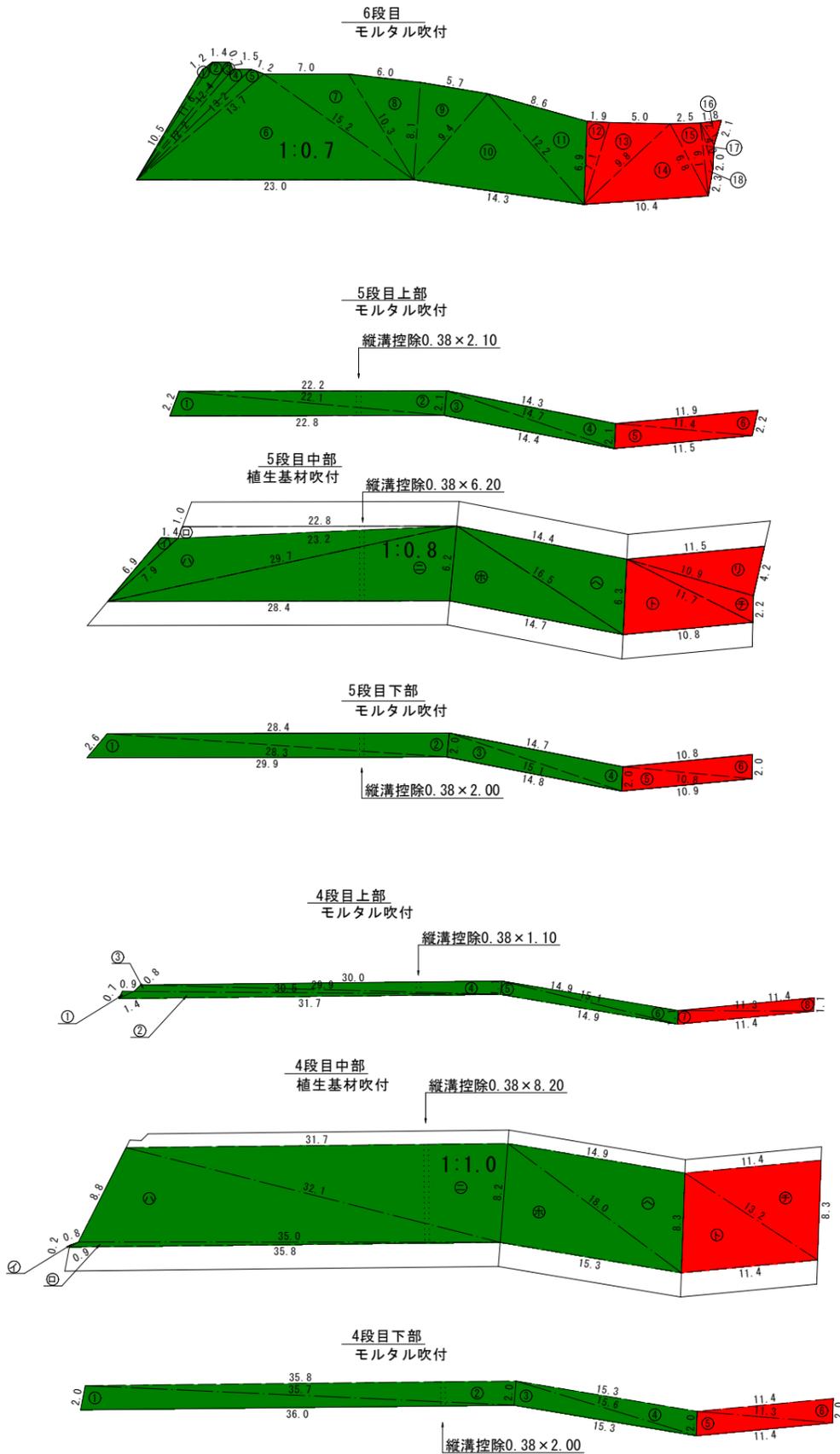


構造図

法面工展開図(2-2)

S=1:250



6段目 法面工 (モルタル吹付)

記号	a	b	c	s	面積 m ²
1	10.5	1.2	11.6	11.65	2.65
2	1.4	12.4	11.6	12.70	6.88
3	0.7	12.2	12.4	12.65	4.12
4	1.5	13.2	12.2	13.45	7.09
5	1.2	13.2	13.7	14.05	7.33
6	13.7	23.0	15.2	25.95	100.40
7	7.0	10.3	15.2	16.25	30.64
8	6.0	8.1	10.3	12.20	24.27
9	5.7	9.4	8.1	11.60	22.96
10	9.4	14.3	12.2	17.95	56.75
11	8.6	6.9	12.2	13.85	28.88
12	1.9	7.1	6.9	7.95	6.55
13	5.0	9.8	7.1	10.95	16.98
14	6.8	10.4	9.8	13.50	32.21
15	2.5	6.1	6.8	7.70	7.59
16	1.8	2.1	2.1	3.00	1.71
17	2.0	4.0	2.1	4.05	0.90
18	2.3	6.1	4.0	6.20	2.31
面積 m ²					360.22

R6: 68.25

【6段目】

R6: 枠内モルタル吹付 68.25m²

5段目中部 法面工 (植生法枠)

記号	a	b	c	s	面積 m ²
イ	6.9	1.4	7.9	8.10	3.61
ロ	1.0	22.8	23.2	23.50	10.54
ハ	7.9	23.2	29.7	30.40	58.71
ニ	29.7	6.2	28.4	32.15	87.55
ホ	16.5	14.7	6.2	18.70	45.35
ヘ	14.4	6.3	16.5	18.60	44.92
ト	11.7	10.8	6.3	14.40	33.67
チ	10.9	2.2	11.7	12.40	11.52
リ	11.5	4.2	10.9	13.30	22.87
面積 m ²					318.74

R6: 68.06

5段目上部 法面工 (モルタル吹付)

記号	a	b	c	s	面積 m ²
1	2.2	22.1	22.8	23.55	23.38
2	22.1	22.2	2.1	23.20	23.20
3	2.1	14.4	14.7	15.60	15.08
4	14.7	14.3	2.1	15.55	14.91
5	2.1	11.5	11.4	12.50	11.96
6	11.4	11.9	2.2	12.75	12.42
面積 m ²					100.95

R6: 24.38

【5段目】

R6: 枠内植生基材吹付 68.06m²

R6: 枠内モルタル吹付 45.92m²

5段目下部 法面工 (モルタル吹付)

記号	a	b	c	s	面積 m ²
1	28.3	29.9	2.6	30.40	29.79
2	28.4	2.0	28.3	29.35	28.30
3	15.1	14.8	2.0	15.95	14.75
4	14.7	2.0	15.1	15.90	14.57
5	10.8	10.9	2.0	11.85	10.79
6	10.8	2.0	10.8	11.80	10.75
面積 m ²					108.95

R6: 21.54

4段目中部 法面工 (植生法枠)

記号	a	b	c	s	面積 m ²
イ	0.2	0.8	0.9	0.95	0.07
ロ	0.9	35.8	35.0	35.85	7.30
ハ	35.0	8.8	32.1	37.95	138.17
ニ	31.7	8.2	32.1	36.00	129.55
ホ	15.3	18.0	8.2	20.75	62.47
ヘ	14.9	8.3	18.0	20.60	61.28
ト	11.4	13.2	8.3	16.45	46.91
チ	11.4	8.3	13.2	16.45	46.91
面積 m ²					492.66

R6: 93.82

【4段目】

R6: 枠内植生基材吹付 93.82m²

R6: 枠内モルタル吹付 35.00m²

4段目上部 法面工 (モルタル吹付)

記号	a	b	c	s	面積 m ²
1	0.7	0.9	1.4	1.50	0.27
2	1.4	31.7	30.5	31.80	11.21
3	30.5	0.8	29.9	30.60	7.99
4	30.0	1.1	29.9	30.50	16.40
5	14.9	15.1	1.1	15.55	8.11
6	14.9	1.1	15.1	15.55	8.11
7	11.4	11.3	1.1	11.90	6.21
8	11.4	1.1	11.3	11.90	6.21
面積 m ²					64.51

R6: 12.42

4段目下部 法面工 (モルタル吹付)

記号	a	b	c	s	面積 m ²
1	36.0	35.7	2.0	36.85	35.43
2	35.8	2.0	35.7	36.75	35.69
3	15.3	15.6	2.0	16.45	15.24
4	15.3	2.0	15.6	16.45	15.24
5	11.4	11.3	2.0	12.35	11.29
6	11.4	2.0	11.3	12.35	11.29
面積 m ²					124.18

R6: 22.58

実施設計図

鹿児島県

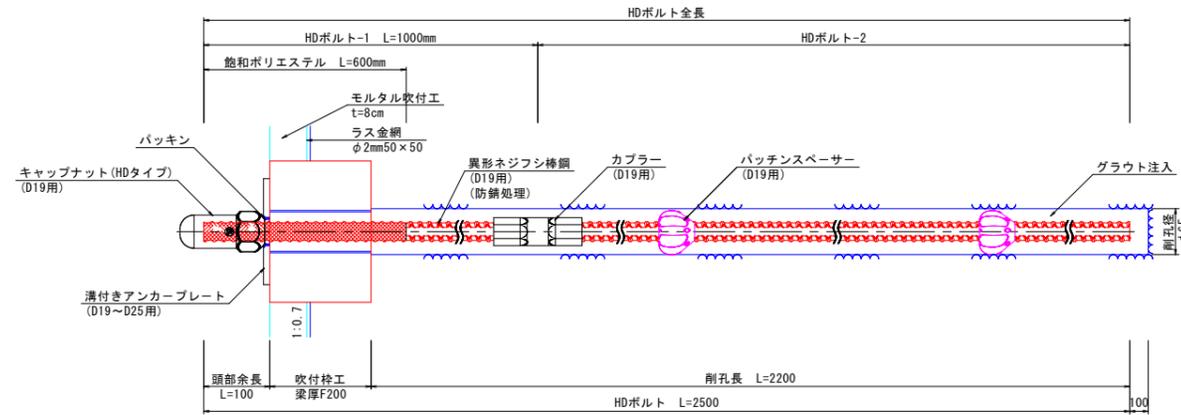
工事名	大規模特定砂防等(急傾斜)工事 (永吉6地区R6-1工区)
路線名	永吉6地区
工事箇所	鹿児島市永吉2丁目地内
図面種類	法面工展開図(2-2)
縮尺	図示
図面番号	全 15 葉 第 10 号

構造図

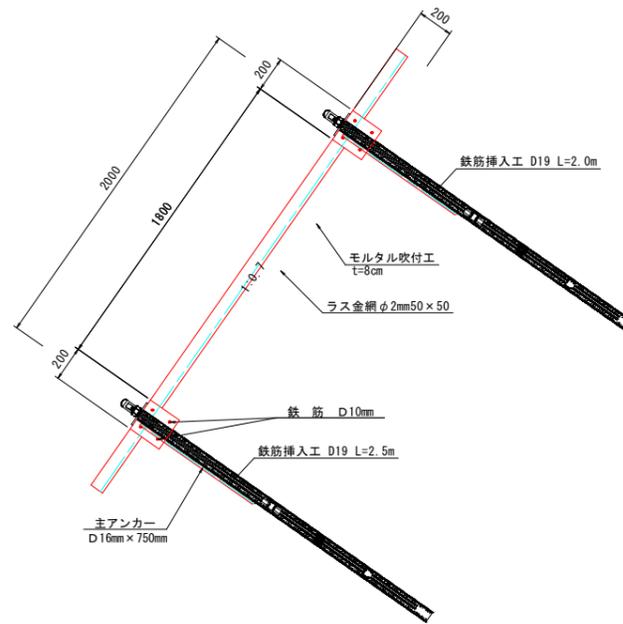
鉄筋挿入工標準図 (参考図)

現場条件Ⅱ 垂直高40m以下

鉄筋挿入工 詳細図 S=1:5

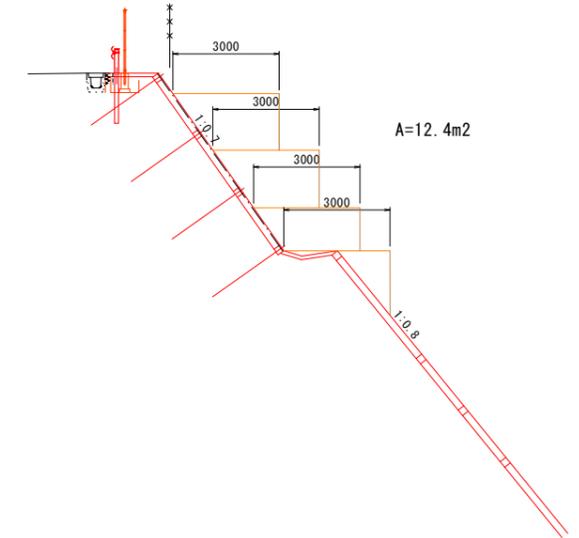


標準断面図 S=1:20



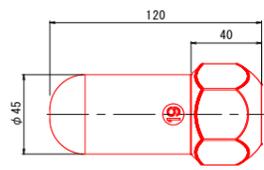
足場工標準図 S=1:100

R6 12.4m2 × (10.6m+10.4m) / 2 = 130.2空m3
※延長は法面工展開図(2-2)より

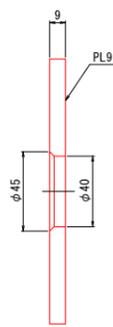
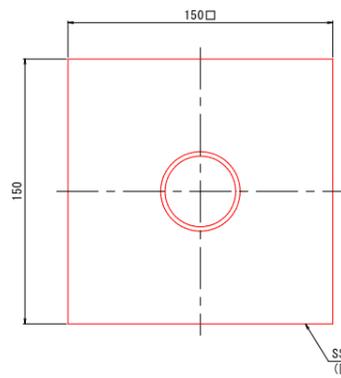
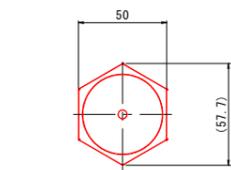


鉄筋挿入工 部品図 S=1:2

キャップナット (HDタイプ) (D19用) S=1:2

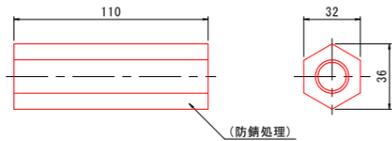


溝付きアンカープレート (10° 補正用 D19~D25用) S=1:2

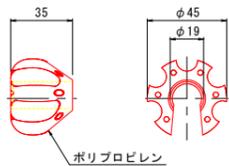


材質、防錆
外装部: AC4C
内装部: FCD450以上
アルミナイズα処理

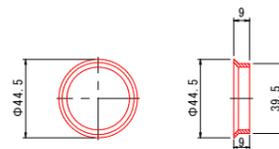
カブラー (D19用) S=1:2



パッチンスペーサー (D19用) S=1:2



パッキン (D19~D25用) S=1:2



鉄筋挿入工 数量表

工種	規格	算定式	100本当り	
			数量	単位
削孔	φ65mm 現場条件Ⅱ	$100 \times (2.50 - 0.20) \times \text{【梁厚】} - 0.10 \times \text{【頭部余長】} =$	220.00	m
HDボルト-1	異形ネジフシ棒鋼 D19 S0345 L=1.00m	防錆: 頭部600mm部 垂鉛メッキ+飽和ポリエステル 頭部600mm以深 垂鉛メッキ	100	本
HDボルト-2	異形ネジフシ棒鋼 D19 S0345 L=1.50m	防錆: 垂鉛メッキ	100	本
グラウト注入	φ65mm	$1/4 \times \pi \times 0.065^2 \times 220.00 \times (1+0.4)$	1.02	m3
注入パイプ	φ17 ホリエチレンパイプ	$220.00 \times \text{【削孔長】} + 100 \times \text{【ネジ棒鋼数】} \times 0.5m =$	270.00	m
キャップナット	HDタイプ D19用	ネジ部: FCD450相当品(アルミナイズα処理) 外側: AC4C相当品	100	個
溝付き アンカープレート	10° 補正用 D19用	防錆: 垂鉛メッキ, 10° 補正	100	枚
カブラー	D19用	FCD400相当以上 防錆: 垂鉛メッキ	100	個
パッチンスペーサー	ポリプロピレン D19用	$100 \times 2 =$	200	個
パッキン	軟質ポリエチレン D19~D25用		100	個

- 補強材の頭部
補強材頭部(ナット、プレート)は垂鉛メッキ処理を行うものとする。
- 補強材の地表部(孔口付近)
補強材の地表部に近い部分(掘り地表面から50cm程度は、注入材の充填を特に注意に行うものとする。
- 補強材の地中部
補強材の保護は、補強材に垂鉛メッキ処理を施し、かぶりを片側10mm以上確保するため、2.5mピッチ以下の間隔でスペーサーを設置するものとする。
- その他の留意事項
防食は現場においての材料管理も重要であるため材料の保管なども十分留意する必要がある。

引き抜き試験及び確認試験について

- 引き抜き試験
実施時期: 本施行に先立って実施する。
試験本数: 地質ごとに3本以上(5本実施する)
- 確認試験
実施時期: 施行完了後に実施する。
試験本数: 全本数の5%以上(10本実施する)
試験荷重: 設計荷重(17.1kN/本)

実施設計図

鹿児島県

工事名	大規模特定砂防等(急傾斜)工事 (永吉6地区R6-1工区)
路線名	永吉6地区
工事箇所	鹿児島市永吉2丁目地内
図面種類	鉄筋挿入工(2-1)
縮尺	図示
図面番号	全 15 葉 第 11 号

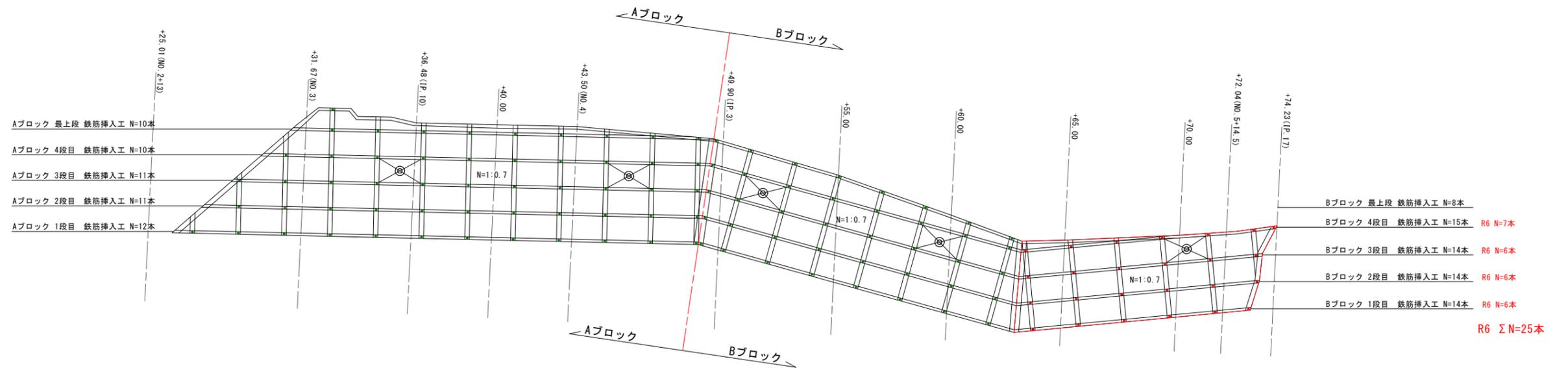
構造図

鉄筋挿入工 平面図

現場条件Ⅱ 垂直高40m以下

鉄筋挿入工配置図 S=1:100

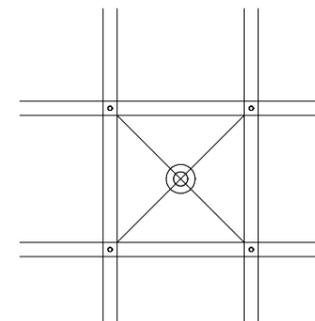
法面6段目 D=19 L=2.50m



引き抜き試験及び確認試験について

- 引き抜き試験
実施時期：本施行に先立って実施する。
試験本数：地質ごとに3本以上（5本実施する）
- 確認試験
実施時期：施行完了後に実施する。
試験本数：全本数の5%以上（10本実施する）
試験荷重：設計荷重（17.1kN/本）

試験位置詳細図



- ⊗ 試験施工（引き抜き試験）N=5箇所
AブロックN=2箇所 BブロックN=3箇所
- 確認試験（本施行箇所）10箇所
AブロックN=5箇所 BブロックN=5箇所

鉄筋挿入工 数量表

工種	規格	算定式	数量	単位
Aブロック	D=19 L=2.50m	12+11+11+10+10	54	本
Bブロック	D=19 L=2.50m	14+14+14+15+8	65	本
鉄筋挿入工	D=19 L=2.50m	54+65	119	本

1式当り

実施設計図

鹿児島県

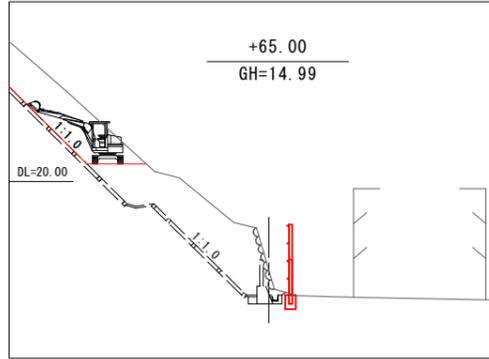
工事名	大規模特定砂防等（急傾斜）工事 （永吉6地区R6-1工区）
路線名	永吉6地区
工事箇所	鹿児島市 永吉 2丁目 地内
図面種類	鉄筋挿入工 (2-2)
縮尺	図示
図面番号	全 15 葉 第 12 号

構造図

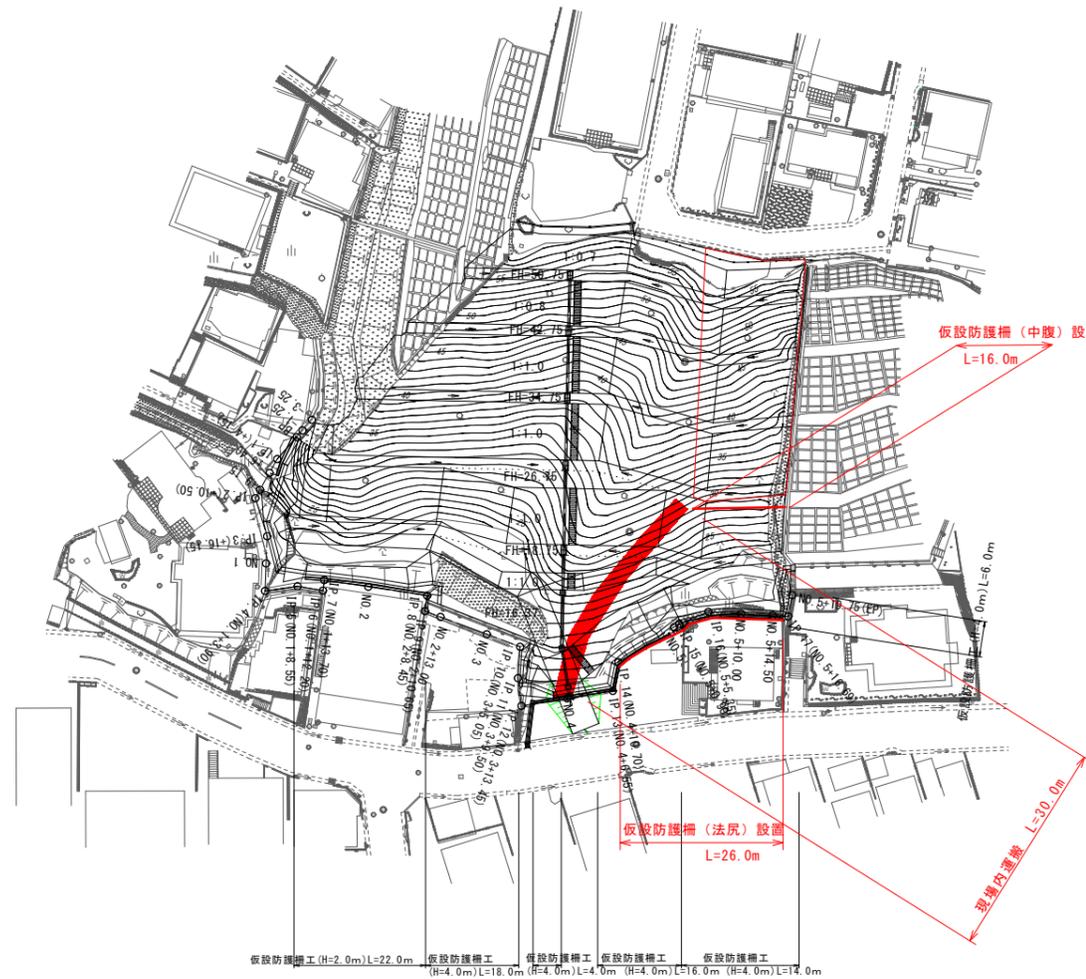
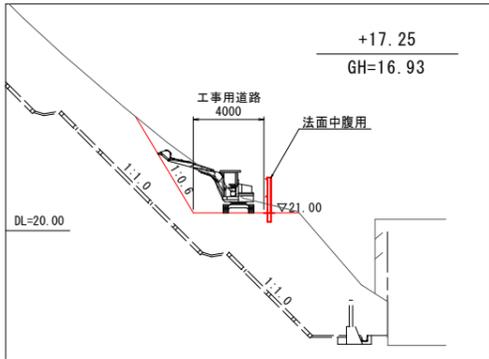
仮設参考図(2-1)平面図

S=1:500

参考横断面 S=1:200



参考横断面 S=1:200



防護柵工集計表

種別	基礎工	コンクリート	人力床掘	備考
防護柵(中腹)	-	-	-	延長 L=16.0m
防護柵(法尻)	14	5.04	5.04	延長 L=26.0m
計	14個	5.04m ³	5.04m ³	

【法面中腹】

防護柵延長 L=16.0m

【法尻】

防護柵延長 L=26.0m

防護柵基礎個数 $N=(26.0/2+1)=14$ 個

基礎工 $V=(0.6 \times 0.6 \times 1.0) \times 14=5.04\text{m}^3$

実施設計図

鹿児島県

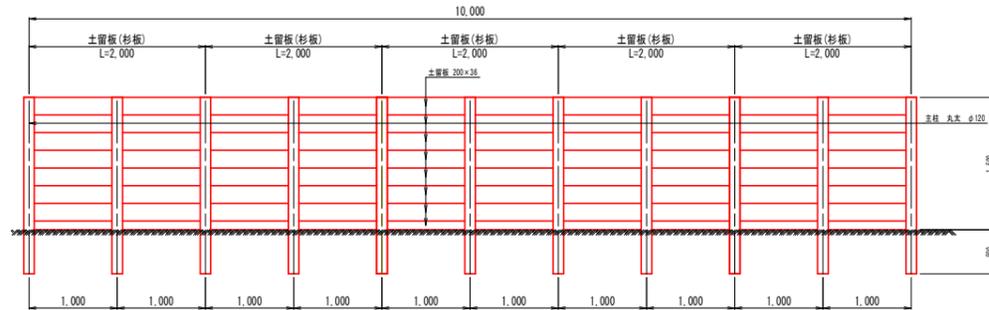
工事名	大規模特定砂防等(急傾斜)工事 (永吉6地区R6-1工区)
路線名	永吉6地区
工事箇所	鹿児島市永吉2丁目地内
図面種類	仮設参考図(2-1)平面図
縮尺	S=1:500
図面番号	全 15 葉 第 13 号

仮設道路について
 現況の地形制約より、一般車両の登坂能力の安全な勾配を確保できないため、
 搬入車両については、クローラ式の重機のみを計画対象とする。
 出入口の縦断勾配 $I=$ 約 25° (クローラ式の登坂能力 $I=30^\circ$)

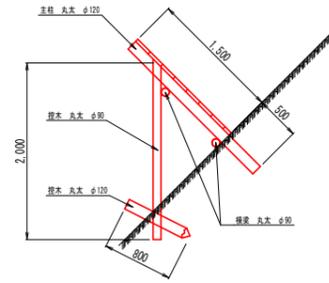
構造図

仮設防護柵(法面中腹用)

正面図 S=1:20



側面図 S=1:20



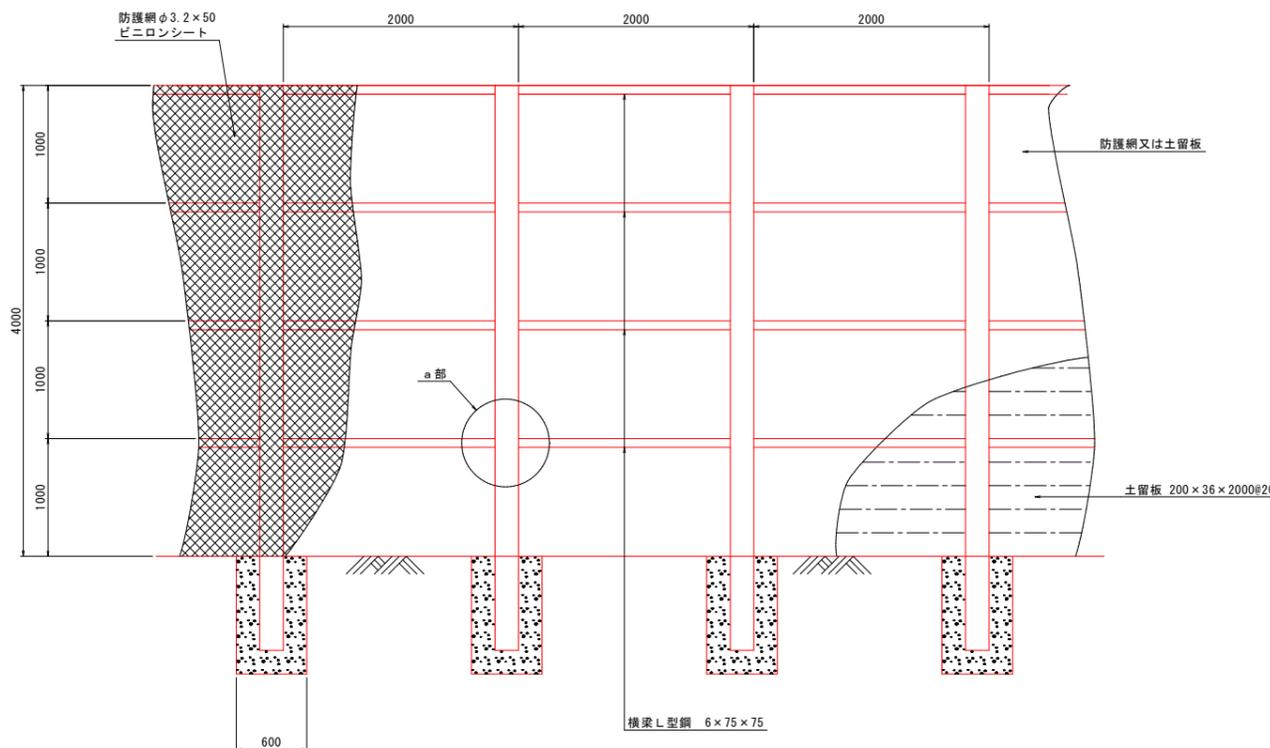
仮設防護柵(法面中腹用) 数量表

名称	計算式	数量	単位	摘要
主柱	丸太 φ120 L=2,000	11.0	本	杉
控木	丸太 φ90 L=2,000	11.0	本	杉
控木	丸太 φ120 L=800	11.0	本	杉
横梁	丸太 φ90 L=2,000	10.0	本	杉
土留板	(杉板) 10.00×1.50=15.00 (200×36×2000)	15.00	m2	

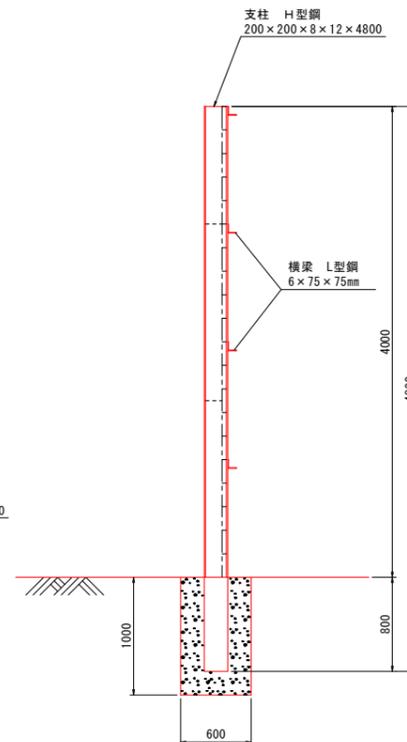
10m当たり

仮設防護柵(法尻用)

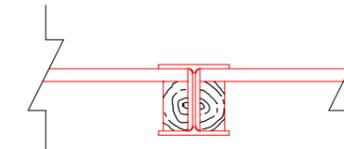
正面図 S=1:30



側面図 S=1:30



a部詳細図 S=1:10



仮設防護柵(法尻用) 数量表

工種	規格	算定式	数量	単位
支柱	H型鋼 200×200×8×12	$4.80 \times 5 \times 49.9 \text{kg/m} \div 1000 = 1.1976$	1.198	t
横梁	L型鋼 75×75×6	$2.00 \times 5 \times 4 \text{段} \times 6.85 \text{kg/m} \div 1000 = 0.274$	0.274	t
土留板	杉板 200×36	$2.00 \times 0.20 \times 0.036 \times 20 \times 5 = 1.440$	1.44	m3
土工	人力床掘 土砂	$0.60 \times 0.60 \times 1.00 \times 6 = 2.16$	2.16	m3
基礎コンクリート	σ ck=18N/mm2	$0.60 \times 0.60 \times 1.00 \times 6 = 2.16$	2.16	m3

10m当り

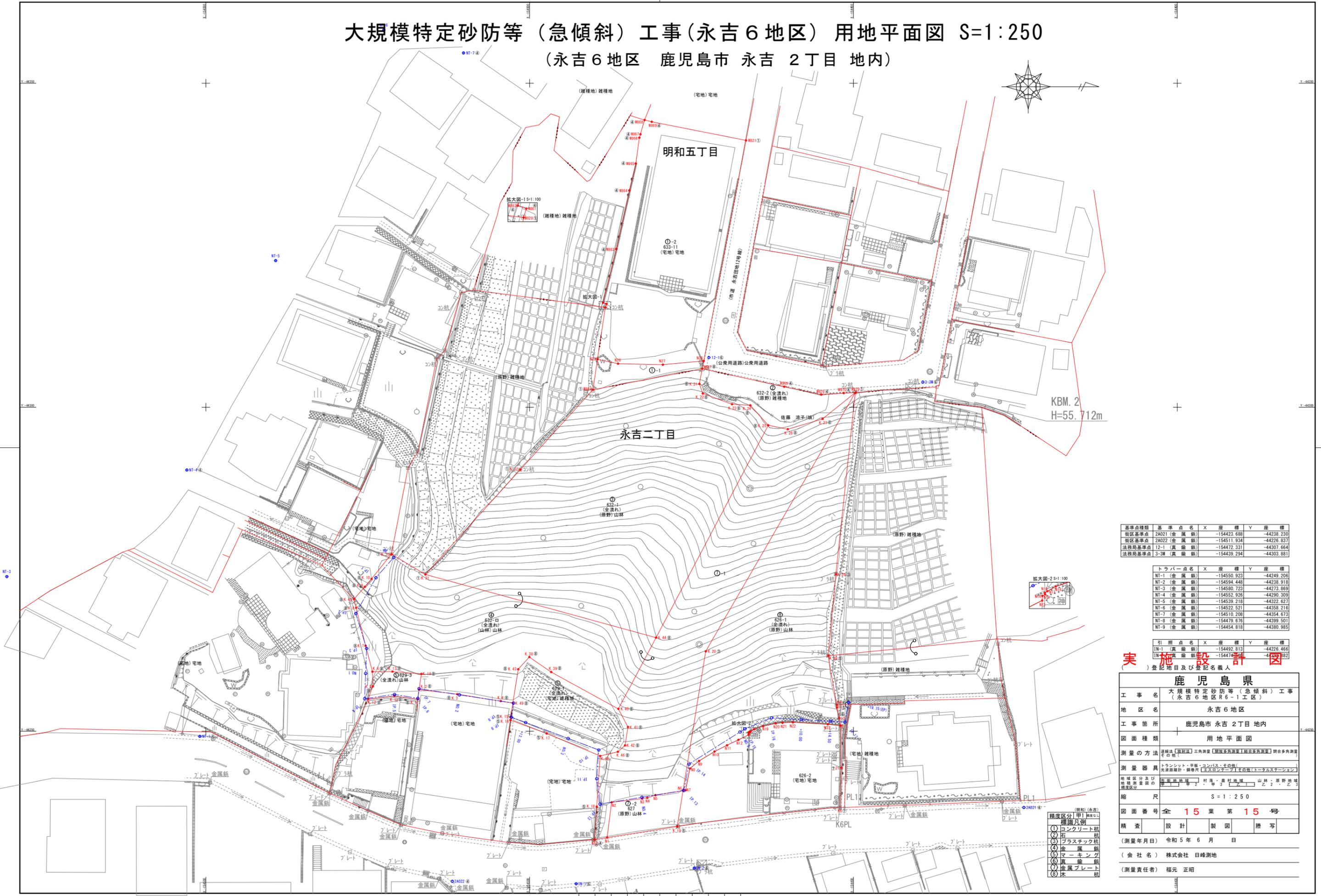
実施設計図

鹿児島県

工事名	大規模特定砂防等(急傾斜)工事 (永吉6地区R6-1工区)
路線名	永吉6地区
工事箇所	鹿児島市永吉2丁目地内
図面種類	仮設参考図(2-2)
縮尺	図示
図面番号	全 15 葉 第 14 号

大規模特定砂防等（急傾斜）工事（永吉6地区）用地平面図 S=1:250

（永吉6地区 鹿児島市 永吉2丁目 地内）



基準点種類	基準点名	X 座標	Y 座標
街区基準点	2A021 (金属板)	-154423.688	-44238.230
街区基準点	2A022 (金属板)	-154511.934	-44226.837
法務局基準点	12-1 (真鍮板)	-154472.331	-44307.664
法務局基準点	3-3M (真鍮板)	-154439.294	-44303.881

トラバナー点名	X 座標	Y 座標
NT-1 (金属板)	-154550.923	-44249.206
NT-2 (金属板)	-154594.448	-44238.918
NT-3 (金属板)	-154580.723	-44273.869
NT-4 (金属板)	-154552.926	-44250.309
NT-5 (金属板)	-154539.218	-44322.627
NT-6 (金属板)	-154522.521	-44358.216
NT-7 (金属板)	-154510.208	-44354.673
NT-8 (金属板)	-154479.676	-44399.501
NT-9 (金属板)	-154454.818	-44380.985

引照点名	X 座標	Y 座標
IN-1 (真鍮板)	-154492.813	-44226.466
IN-2 (真鍮板)	-154477.821	-44282.821

実 施 設 計 図
登録地目及び登記名義人

鹿児島県	
工事名	大規模特定砂防等（急傾斜）工事 （永吉6地区 R6-1 工区）
地区名	永吉6地区
工事箇所	鹿児島市 永吉2丁目 地内
図面種類	用地平面図
測量の方法	測法【放射法】三角測量【断面法】断面法【閉合多角測量】閉合多角測量 その他
測量器具	トランシット・平板・コンパス・その他 光線距離計・鋼巻尺【5m】【5m】【5m】 その他
地域区分及び 地籍調査区画の 種別区分	村域・農村地域 山林・原野地域 種別区分 第2種 第3種 第2種 第2種
縮 尺	S = 1 : 250
図面番号	全 15 葉 第 15 号
精 査	設計 製図 検印
(測量年月日)	令和5年6月 日
(会社名)	株式会社 日峰測地
(測量責任者)	福元 正昭

- 精度区分 甲1 標準なし
- ① ロックリット杭
 - ② 石
 - ③ プラスチック杭
 - ④ 金属杭
 - ⑤ マーキング
 - ⑥ 真鍮板
 - ⑦ 金属プレート
 - ⑧ 木杭